

シカ君 と ウマ君

～ 来週の相場見通し ～

* No.0016 *

04 / 11 / 12

発行・編集 FXニューズレター

<http://www.fx-newsletter.com/>

info@fx-newsletter.com

【 11月 12日週 】

ウマ「こんにちは、シカ君。一方的なドル安・円高は一服したけど、相場はまだまだ荒れているねえ」

シカ「ホントに。対円ではドル安も一服したけど、そしたら対ユーロでドルは安値を更新したから。ドル安もなかなか侮れない。先週も言ったけど、かなり根の深い問題だと思うよ」

ウマ「でも、どうなんだろう。そろそろ落ち着くころなのかな？ ちょっと広い気もするけど、105～108円程度のレンジは居心地が良いようにも思うし・・・」

シカ「うん。そうだね。個人的には、そんなイメージを持っている。あまりレンジを逸脱することはないと思うよ。けど・・・」

ウマ「ストップ！長い付き合いのすえ、シカ君の言いたいことがようやく判ってきたよ。『けどリスクはドル安・円高だけだね』・・・でしょ(笑)」

シカ「参ったなあ～。完全に読まれているよ(笑)。そう。そもそも論として、円高じゃなくてドル安相場だって言うことが先ずあるんだけど、加えて先日の機械受注、今日のGDPと予想を大きく下回る数字が発表されたにもかかわらず、円売りは限定的なものに留まっている。これから先も円売りが加速することは考えにくいな」

ウマ「なるほどね。そうなんだよ。機械受注もGDPもあれほど悪い数字なのに、影響はほとんどないものね。まったく信じられないよ！ポジシヨンのもたいぶ軽くなったのかな？」

シカ「ドル/円については、もともとそんなにポジシヨンが偏っていないでしょ？ユーロ/ドルは1.30ドルまで行く過程でたいぶドルショートになっていたよね。それはシカゴIMMのデータにもはっきりと現れている。けど、介入警戒感などからたいぶ戻したから、いまはどうかね」

ウマ「シカ君に聞かよ！ズバリ、1ドル105円は割れるだろうか？」

シカ「それってスパンは？来週中？それだったら、可能性は低いって考えるね。来週の材料はG20ぐらいしかないし。でも、気になることがあるんだよね・・・」

ウマ「それぞれ！そういうのを聞かせておくれよ。なんだい？」

シカ「取り敢えずは今日付け日経金融新聞の1面だろうね」

ウマ「見た見た！米国がドル安容認に転換へ、1ドル80円も視野、でしょう。タイトルだけ見たら、ビックリ仰天だったよ。内容はとくになかったけど(笑)」

シカ「・・・(笑)。そう。でもその日経金融新聞が気になるんだよね。というのも、先週に言ったでしょ。『みんなが言い出したら要注意。日経新聞あたりに、それらしい記事がでたら注意が必要かもしれない』って。相場には“知ったら(お)しまい”という格言があるけど、なんとなくそんな予感もするよね」

ウマ「それは判るなあ～。問題はメジャーな日経新聞じゃなくて、ややマイナーな日経金融新聞ってところだけだね。ちょっと微妙(笑)」

シカ「まさにそのとおり(笑)。日経新聞なら“文句なし”、なんだけどさ(笑)」

ウマ「そういえば、マーケットではECBによるユーロ売り介入思惑がある反面、来週のG20でドル安合意されるとのウワサもあるみたいだね」

シカ「うん。僕もそれは聞いているよ。でもね、あんまり重要視することはないでしょう。もちろん、可能性としては否定出来ないけどさ」

ウマ「ポジシヨントークかな？」

シカ「だと思うね。値動きはそれなりにある相場だけど、意外に儲けている人は少ないハズ。ヤラれている人が言い出した話のような気がするな。

そうそう。ひとつ忘れていたよ。ヘッジファンドなどは米感謝祭までが年内の勝負だからね。それも一応頭の隅に入れておいた方がいいかも知れない」

(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。
なお、本稿の**無断転載・転送**もご遠慮ください。

Copyright (C) fx-newsletter All Rights Reserved